
俺がキャプテンブラボーだ！！

ドッパ

タテ書き小説ネット Byヒナプロジェクト

<http://pdfnovels.net/>

注意事項

このPDFファイルは「小説家になろう」で掲載中の小説を「タテ書き小説ネット」のシステムが自動的にPDF化させたものです。この小説の著作権は小説の作者にあります。そのため、作者または「小説家になろう」および「タテ書き小説ネット」を運営するヒナプロジェクトに無断でこのPDFファイル及び小説を、引用の範囲を超える形で転載、改変、再配布、販売することを一切禁止致します。小説の紹介や個人用途での印刷および保存はご自由にどうぞ。

【小説タイトル】

俺がキャプテンブラボーだ！！！！

【Nコード】

N9843K

【作者名】

ドッパ

【あらすじ】

異世界ダンジョン物で、笑い有り、バトル有りを書いて・・・いけたらいいなあ

処女作なのでアドバイスお願いします

プロローグ（前書き）

駄文です マジで駄文です
これを読むのならご覚悟を・・・

ブローグ

俺はごく普通の会社員（独身21才）だった。両親は普通に生きてるし、山ごもりや修行をした経験もない。ムエタイは高校の時習っていたが。

俺は普通の会社員なんじゃない、普通の会社員だったんだ。

大事な事だからもう一度言っぞ

普通の会社員だったんだ！！！！

そう！！ 過去形だ！！！！！！

もう察しのいい人ならわかったと思うが、実は俺・・・・・・・・今・・・・異世界に居るんだ！！！！！！

いやマジで！！！！

何で異世界に居るか説明するから、そこ！救急車呼ばうとしない！！

んじゃあ海藻……間違えた、回想いつてみよう！

~~~~~回想シーン~~~~~

21歳の誕生日、俺は死んだ。うん。突然言われても何がなんだか分からないと思うけど。しかし、俺は死んだんだ。

皆は人は死んだらどうしたい？天国に行つて幸せに暮らす？地獄落ちて苦しむ？それとも、未練が有り幽霊になる？

俺は！俺は！！天国に行つてハーレムを築く！！！！

妄想はいいから死んだ理由教えろって？

え？死んだ理由？バ。殿見て飯食つてたら、喉つまらして窒息死しましたが何か？

まあ待て、問題はそこじゃあない。

問題なのは、何か金色に光ってるザビ。ル的な物体だ。

だってさ、その金色に光ってるザビ。ル的な物体が「あなたには、別の世界に行ってもらいます」

とか言ってくるんだぜ？

・・・え？

「もう一度言ってもらえますでしょか、金色に光ってるザビ。ル的な物体様」

「・・・何かメツチャ失礼ですね？つつか金色に光ってるザビ。ル的な物体様って何さ？私これでも神よ？ゴットですよ？」

ブチ！「いいからもう一度言えって言ってるんだろが！残りの髪全部散らすぞこら！！！」

「ひーーーーーごめんなさい、ごめんなさい、ゴメンナサイ、ゴメンナサイ、何でも言いますからーゴホン！！えゝあなたには、別の世界に行つて「うっしゃー！！！」ますってまだ喋ってる最中なんですけど！！！」

HAHAHAもうザビちゃんたら、カルシウムたりないぞ

「気にするなってザビちゃん、さあサツと能力寄こしてパツと異世

界に送れ」

（ザビちゃんって・・・）「えっ？何で俺が〜とか、何で異世界に〜とか聞かないんですか？」

「メンドクサイからいい」

「・・・それじゃあどんな能力がいいですか？」

どんな能力がいいかだつて？

ふん！そんなの決まっている！！

「神と同等の力を使える能力よこせ！！」

「無理」

・・・・・・H A H A H A 俺とした事が聞きのがしたY O

「神と同等の力を使える能力よこせ！！」

「無理」

「……………神と同等の力を使える能力よこせ!!」

「無」 「テツ・ラン!!!」 「No!!」

→ ローキック

何言っただこの金色に光ってるザビ。ル的な物体は？

変なこと言うから蹴ってしまったでわないか

「もう一度言うぞ、神と同等の力を使」 だから無理です!!!」

……………落ち着け俺、戦場では焦った者から死んでいくんだ、クルになるんだ俺!

そつだまず理由を聞くんた

「おい」

「はい?何でs」 「ティー・カウ・コーン!!!!!!」 ↑ 回しひざ蹴り

<ズバン!!!>「ごほ!!」

は!思わず足がでちゃったZE

## プロローグ2（前書き）

まだプロローグです

しかも主人公名前まだでてこない

## プロローグ2

オスー！！おらゴックン！

ひゃー世界には強えー奴がたくさん居ておらワクワクすつぞー！！！！

・・・とまあ冗談は置いて

「で何で神と同等の力を使える能力が無理なんでしょうか？金色に光ってるザビ。ル的な物体様」

「いや、与えられる能力のキャパシティ上限が決まっててですね？明らかに超えてるんですわ。」

「というか私じゃあ上限が無くてもそんな能力、力が足りなくて無理です」

「と言う事なので別なのを考えてください」

なるほど、ザビちゃんは、ふか。りよ的な存在って事だな

むーだったら

「武装錬金に出てくるキャプテンブラボーのシルバースキン・・・  
というかキャプテンブラボーができる事を使えるようにしてくれ」

ふっ何を隠そう実は俺は和月伸○さんのファンなのだ

「へっ？ちよつと待ってくれませんか今調べるので」

．．．．．

．．．．．

．．．

「はいこれなら全然余裕です」

しゃー！！！！これで俺も今日からキャプテンブラボーだ！！！！

皆これから俺の事キャプテンブラボーと呼んでくれ！キラ

「ですが他に無いですか？キャパシティがまだ余裕がありますしあなたが行く所はモンスターが居たりする世界なので」

なぐにを言っているんだこの金色に光ってるザビ○ル的な物体は？

キャプテンブラボーですよ？こ・の・キャプテンブラボーがモン

スターごときにやられると思ってるのかね？

だが！！しかしこのキャプテンブラボー貰えるものは貰う主義なのだ！！！！

「じゃあ身体能力を上げてくれ、ついでにその世界の金遊んで暮らせるだけくれ」

んゝ俺は何て謙虚なんですよ

「わかりました、でわ……。ひい・ラ・リ・ヒラ・ヒ・ラ・ヒ  
ヒ・ラ・リラゝ」

呪文ださ！！！！

「これではあなたは、能力が使えるようになりました」

くっくっこれで俺もキャプテンブラボーだ

これで命の心配はほとんど無いし金もたんまり有る

つ・ま・り 墮落した人生がO・KU・RE・RUフォー!!!!!!!!!!

「さて私の役目はあとひとつですね」

ん？何か足元が黒くなってきたる？

<シュゴ>へ？

あれ？地面が・・・無い？？

つまり・・・

「NO————!!!!!!!!!!!!!!!!!!アイ・キャン・フライ  
!!!!!!!!!!!!!!」

「・・・残念余裕そうですね、やはりGO KIBUR  
Iバージョン2・13に運ばせるべきでした」

「あ！そうそう私の名は金色に光ってるザビ。ル的な物体でもザビ  
ちゃんでも有りません!!!!!!」

「私の名はザ・ビエール・マクド・ナ・ルドです！……聞こえてないでしょうが念のため……」

## PDF小説ネット発足にあたって

PDF小説ネット（現、タテ書き小説ネット）は2007年、ルビ対応の縦書き小説をインターネット上で配布するという目的の基、小説家になろうの子サイトとして誕生しました。ケータイ小説が流行し、最近では横書きの書籍も誕生しており、既存書籍の電子出版など一部を除きインターネット関連「横書き」という考えが定着しようとしています。そんな中、誰もが簡単にPDF形式の小説を作成、公開できるようにしたのがこのPDF小説ネットです。インターネット発の縦書き小説を思う存分、堪能<sup>たんのう</sup>してください。

---

この小説の詳細については以下のURLをご覧ください。  
<http://ncode.syosetu.com/n9843k/>

---

俺がキャプテンブラボーだ！！

2010年10月9日07時18分発行